

平成30年度 第1回花見川区公民館運営審議会 議事録

1 日 時 平成30年6月27日(水) 午後2時00分～午後4時00分

2 場 所 幕張公民館 講堂

3 出席者 出席・・・14名(定足数8名)

竹内昌夫委員、宇野勝男委員、鶴岡義昭委員、宮間久男委員、吉田とし子委員、大矢建三委員、東野陽子委員、小池泰子委員、服部恭子委員、田岡與志昭委員、門脇昌子委員、橋本香代委員、河合千晶委員、大木 操委員

欠 席・・・1名 大塚由美子委員

(事務局)

千葉市教育委員会生涯学習部生涯学習振興課

田島寛純(課長補佐)、柴崎まつ子(主査)、石毛隆幸(主査補)

千葉市教育振興財団公民館管理室

藤井拓也(室長補佐)

渡辺 弘館長、村松英司副館長(幕張)、南川昭弘館長(花園)、平川幸雄館長(犢橋)

齋藤 敬館長(検見川)、飯塚 清館長(花見川)、鴫田芳朗館長(さつきが丘)、

齊藤和範館長(こてはし台)、松戸義明館長(長作)、林 弘明館長(朝日ヶ丘)、

友杉修三館長(幕張本郷)、西田智子主事、海寶孝夫主事(幕張)

4 審議会

(1) 議事録署名人の選出

(2) 議事

① 承認事項

議案第1号 平成29年度 事業報告について

・平成29年度 公民館主催事業報告

・平成29年度 花見川区事業報告

② 報告事項

平成30年度 事業計画について

・平成30年度 公民館主催事業計画

・平成30年度 花見川区事業計画

③ その他

5 審議会の概要

(1) 開会のことば(進行:柴崎主査)、生涯学習振興課挨拶(田島課長補佐)

(2) 委員長・副委員長を選出、委員長挨拶(竹内委員)・副委員長挨拶(東野委員)の後、議事録署名人の選出を行い、2名の委員が議事録署名人に指名された。

・議事録署名人:宇野勝男委員、鶴岡義昭委員

・傍聴人:0人

(3) 承認事項(議案第1号 平成29年度事業報告について)と報告事項(平成30年度事業計画について)を一括して提案説明をした。

(4) その他

なし

6 会議経過

<p>柴 崎 生涯学習振興課 主査</p>	<p>○平成30年度第1回運営審議会の議題の審議をお願いいたします。 本日は15名中14名の委員が出席されており、千葉市公民館管理規則第16条第1項の規定によりまして過半数以上で会議は成立しております。なお本会議は、千葉市情報公開条例第25条に基づき公開となっております。また、議事録を作成するために録音させていただきますので、ご了承いただきたいと思ひます。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>・それでは、これから平成30年度第1回花見川区公民館運営審議会の議題の審議に入ります。審議に入ります前に議事録署名人2名を指名したいと思いますと思ひます。今回、委員の改選がございました。今までの名簿順という方法を継続していきたいと思ひますが、皆様いかがでしょうか。 それでは、2番の宇野さんと3番の鶴岡さんをお願いします。 それでは、審議に入ります。本日の議事は、平成29年度事業報告・平成30年度事業計画・その他を含め3件です。順次、事務局からの説明の後に質疑を行ってきたいと思ひます。 では、承認事項・報告事項を続けてお願いいたします。</p>
<p>村 松 幕張公民館副館長</p>	<p>・幕張公民館副館長の村松です。 この後、全館からのご説明は着座のまま、進めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。 それでは、平成29年度の事業報告からご説明いたします。 お手元の資料、1ページ目をご覧ください。最初に、表の上段、中ほどの応募決定率の欄をご覧ください。定員に対する応募者の割合ですので、数字が低いものはあまり人気が無かったものとなります。 当館で応募決定率が70%以下の事業は、家庭教育の「伝統料理太巻き寿司づくり」、成人教育の「防災講演会」、女性教育の「美肌と美顔づくりのための講座」と「子育てに役立つ話し方講座」の4つが該当します。 30年度の事業計画の話になりますが、応募決定率の低かった4事業をどう見直したか簡単にご説明します。 家庭教育分野の「太巻き寿司づくり」については、青少年の健全育成と家庭教育の重要性を考慮し、親子がより参加してくれるよう広報などを工夫していきたいと思ひます。 成人教育については、防災教育も大事ですが、今日的なテーマを考慮し、パラリンピック・ボランティア教育に変更します。 女性教育の2事業については、新たな事業に変更したいと思ひます。 次に出席率でみると、ほとんどが80%以上ですが、応募決定率では高い人気ながら出席率が63%と低いのが「郷土千葉を知り歩こう」の事業です。この事業は高齢者の応募が多く、全6回の事業なので体調や都合により毎回出席できない方もいたことが影響したようです。人気の事業なので回数やコース等を検討して継続したいと思ひます。 また、今回で4回目の実施となる「ウィンターコンサート」は応募者以上の出席者があり、129%の出席率でした。地元の幕張中学校吹奏楽部の発表が地域の活性化にもつながり、高い出席率になったものと思ひます。</p>

<p>南 川 花園公民館長</p>	<p>います。</p> <p>次に特色のありました事業について、幾つかご説明いたします。</p> <p>少年教育では、夏休み等学校休業日対応事業の「えいごであそぼ」ですが、小学校に英語が教科として導入されることもあり、神田外語大学の学生に講師として協力してもらうことで、実現できました。近隣の大学ですので、今後も連携、協力して実施していきたいと思います。</p> <p>成人教育についてですが、「初めての楽しいガーデニング」や「木工教室」は、講師の丁寧な指導で参加者にも大変好評でした。</p> <p>また、音楽鑑賞会の「津軽三味線」は、市政だよりで募集しましたが、大変な人気であったという間に定員一杯になりました。参加された方の感想も大変良かったので、継続して今年度も実施する予定です。</p> <p>高齢者教育についてですが、千葉市薬剤師会に協力していただいた「お薬の話と個別健康相談」は、身近な体や健康に関することなので、好評で充実したものとなりました。</p> <p>以上、平成29年度は、全23事業を実施しました。</p> <p>続きまして、2ページの平成30年度 事業計画についてご説明いたします。</p> <p>家庭教育では、今回資源エネルギー問題をテーマに「エコキャンドルづくり」を新事業に加え、継続4事業と合せ、全5事業を実施します。</p> <p>少年教育では、千葉市を美しくする会主催の「千葉氏ダンボール甲冑づくり教室」を通して、郷土に誇りや愛着を持てる子どもたちを育てる学習に協力したいと思います。この事業を含め「夏休み学び隊」を5事業計画しました。</p> <p>成人教育ですが、今年度の「郷土千葉を知り、歩こう」は「千葉市内の史跡散策」をテーマに、千葉市内の5コースを散策しますが、相変わらず人気が高く定員30名を超えて33名の受講者となりました。その他として、継続の「ガーデニング」や「ボッチャ体験会」、「津軽三味線」の他、先ほども述べましたが「パラリンピック・ボランティア教育」について詳細はこれからですが、本館で活動している「要約筆記サークル」の方に講師をお願いし、要約筆記の学習を通じて聴覚障害の方へのボランティア教育を促進したいと思います。成人教育は以上の5事業です。</p> <p>女性教育は、趣向をガラッと変え、伝統工芸である「染物」と「組みひも」の2講座を計画してみました。講師も本館のサークルの方々をお願いし、サークル活動の活性化にも貢献できればと期待しています。</p> <p>高齢者教育では、「エンディングノート」や「お薬と健康」、「介護予防体操」の継続事業に加え、お年寄りが自立しながら過ごすために「タブレットを使った脳トレ講座」を計画し、脳の活性化を期待します。以上4講座です。</p> <p>子ども会リーダー養成講座等につきましても引き続き開催し、少子高齢化が進む中、公民館としても子どもたちの健全な成長を応援したいと考えています。</p> <p>以上、平成30年度は、全23事業を計画しております。</p> <p>・平成29年度の花園公民館の事業報告です。 お手元の資料P3をご覧ください。29年度は、3分類で、全25事</p>
-----------------------	---

業を実施しました。

まず、「家庭教育」ですが、4事業を実施しました。

子育て中のお母さん達の居場所づくりとして、「親子ふれあい教室」を3回実施しました。

畑小学校PTAの保護者の方とご相談し「家庭教育学級」を2回開催しました。内容は、ゴムバレーボールと3B（ボール・ベル・ベルター）体操を行いました。3B体操の2月の開催ではインフルエンザの影響もあり参加者が若干少なかったことが残念でした。

「教育座談会」は花園中学校区5校の保護者を対象として行っています。継続事業であり、参加者からの好評を得ています。

次に「少年教育」です。子供チャレンジとして13事業を実施しました。「パンを作ろう」「カルメ焼きを作ろう」「太巻き寿司を作ろう」「クリスマスのフラワーアレンジ」「凧を作ろう」は継続事業として体験を重視し行いました。「パンを作ろう」「カルメ焼きを作ろう」は大変人気の高い事業となっています。

「凧を作ろう」では、花園中学校区青少年育成委員会の方々が、子ども達に凧作りとお正月の凧あげを指導して下さいました。「紙や竹ひごを使って自分の手で凧を作る」という活動は長年企画しておりますが、これからも地域の子供たちのために続けていきたいと考えています。

新規としまして「まるっとグライダーを作ろう」「英語で遊ぼう」「ラテアートに挑戦」を実施しました。「英語で遊ぼう」では小学校2～4年生を対象にゲームを通して英語単語を覚え、使って楽しんでいました。希望者が多く受付開始1時間で定員に達するほどでした。保護者や子供のニーズが高まってきていることを感じました。

続いて「成人教育」として、8事業を実施しました。受講者の皆さんの健康に関する関心の高さが感じられました。

「指ヨガで体調を整える」は、指ヨガインストラクターの方を講師にお願いしました。指ヨガで体調を整えるというものです。定員以上の参加となりました。地域の皆さんの健康に対する関心の高さがうかがえます。昨年よりこの事業を機に公民館クラブとして立ち上がっています。

「タブレットを使った脳トレ」は、タブレットと脳トレという2つの言葉が心に響いたようで、70歳以上の方の申し込みが殺到し、10名程度定員を増やしました。

新規「シニア向けスマホ教室」は、スマートフォンに触れたことのない方が対象のため、はじめのうちはタッチパネルに恐る恐る触っていたが、終盤はかなり慣れてきて、もっといろいろ知りたいと質問者が多かったです。シニア世代にもスマートフォンが普及しはじめ関心も高いことがうかがえる。

新規「歴史講座」は、千葉氏の起こりという内容で行いました。応募や問い合わせが多く、市民の関心が高いことがうかがえる。講師が用意した資料もわかりやすく好評であった。

以上、全25事業を実施しました。これで、平成29年度事業報告を終了いたします。

続きまして、平成30年度事業計画について、ご説明いたします。資料は、次のP4になります。

30年度は、29年度からの継続事業に、新規事業を加え、全32事業を予定しております。事業内容を簡単に説明させていただきます。

「家庭教育」としては、5事業を予定しています。

今年度も畑小学校と2回の共催事業を実施します。

一昨年度からの継続事業として、5校の先生方と保護者による「教育座

<p>平川 犢橋公民館長</p>	<p>談会」を企画しました。今年度の「携帯・スマホ、SNSなど問題について考える」というテーマで取り組みと発表や意見交換を通して、花園中学校区の家庭教育へと結びつけをはかって行きたいと思えます。この事業は検見川公民館と連携し共催として実施していきます。</p> <p>新規事業としまして、「大賀ハスの飾りとミサンガを作ろう」ということで6月3日子供と保護者の親子参加で子育て支援や絆づくり支援につながるよう事業を実施しました。</p> <p>「少年教育」としては、13事業を予定しています。</p> <p>文部科学省の放課後子ども教室事業との関連で、子どもの居場所づくりが課題となっている中、学校休業日の対応事業として、また小学校英語学習の始まり等も考え、今年もたくさんの事業を企画しました。</p> <p>継続事業としては、昨年度人気の高かった「パンを作ろう（4回）」「カルメ焼きを作ろう」「フラワーアレンジ（2回）」「凧を作ろう」など8事業、新規事業としては、「英会話教室8回」、「私だけの朝食を作ろう」、などの4事業を計画しています。</p> <p>「成人教育」としては、8事業を予定しています。</p> <p>郷土の歴史に触れることを目的とした「歴史講座」と「ラテアート体験」は関心が高いことから継続事業として予定しています。また、新規事業として健康に関するニーズが高いことから「アーユルヴェーダ体質診断」「ウオーキング講座」など6事業を予定しています。</p> <p>「高齢者教育」としては、1事業を予定しています</p> <p>好評をいただいている「タブレットを使った脳トレーニング講座」継続事業として予定しています。</p> <p>最後に「その他」としては、新規事業としまして5事業を予定しています。5月13日に三遊亭たん丈さんをお招きして「落語を楽しむ」を開催し、多くの皆さんの参加の元にぎやかに、楽しんでいただきました。</p> <p>以上、簡単ではありますが、平成30年度事業計画の説明を終了いたします。</p> <p>・犢橋公民館・館長の平川でございます。</p> <p>それでは、犢橋公民館におけます「平成29年度の主催事業の報告」について、ご説明をいたします。大変恐縮でございますが、5ページをご覧くださいと存じます。</p> <p>犢橋公民館は、昨年10月に新たにオープン致しましたことから、資料のとおり、小学生を対象とした「書初め練習会」、成人教育として「お正月の花飾りづくり」と、4回のコースで刻字の手法による「表札づくり教室」の計3事業を実施いたしました。オープン後、間もないことから、数少ない事業となってしまいましたが、それぞれの教室では、その作品の出来栄に、良く出来たとか、豪華に出来たとか、大変満足頂きました。3事業の延べ出席者数は77名で、出席率は、ほぼ100%でございました。平成29年度の自主事業の報告は、以上でございます。</p> <p>次に、「平成30年度の事業計画」につきましてご説明いたします。6ページをお開き頂きたいと存じます。ご説明をさせて頂く前に、大変恐縮でございますが、一か所、資料のご訂正をお願い致します。成人教育の二行目の「パン作り教室Ⅱ」の日程ですが、事前に配付させていただきました資料では、6月27日となっておりますが、正しくは、7月27日でございますので、ご訂正をお願い致します。</p> <p>それでは、ご説明をさせていただきます。主催事業を計画するに当たりましては、犢橋公民館の立地条件や部屋の内容等、また、過去の自主事業の実施結果などを踏まえ、地域の皆様のニーズに見合った事業を基本と</p>
-----------------------------	---

<p>齋 藤 検見川公民館長</p>	<p>して、また、平成30年度からは、千葉市教育振興財団が指定管理者として管理運営される事となり、事業予算も増額されたことから、建替え前の事業数の、概ね2倍の25の事業を計画致しました。内訳と致しましては、少年教育として5事業、成人教育として13事業、女性教育として3事業、高齢者教育として4事業でございます。既に、成人教室の内、初心者向けの「パン作り教室」は、募集初日に定員を大幅に超える応募があり、急きょパートⅡとして7月に開催する計画をしました。また、本日開催いたしました「折紙教室Ⅰ」も定員15名のところ26名の応募がありましたので、講師とご相談を致しまして、応募者の全員の方々に参加して頂く事と致しました。少年教室と致しましては『エコキャンドル作り』や『バルーンアート』など体験学習を中心に、また、成人や女性・高齢者教育でも『石粉粘土講座』『スポーツ吹き矢』『脳トレーニング』等の体験教室や警察・消防等の関係機関の協力を得て、『防犯・防災・救命関係』の講習会も計画致しました。犢橋公民館では、利用者の殆どが高齢者でございますので、その方々のニーズに応え『生前整理講座』など、25の事業を計画したところでございます。今後も、地域の皆様のニーズに見合った事業を基本に、多くの方々が参加しやすく、皆様方に喜んで頂けるよう、進めて参りたいと考えております。平成30年度の事業計画は、以上でございます。犢橋公民館の主催事業の報告及び計画は、以上でございます。</p> <p>・ 検見川公民館の齋藤 敬と申します。よろしくお願ひ致します。</p> <p>先ず、平成29年度の主催事業につきまして、ご報告いたします。</p> <p>資料の7ページをご覧下さい。標記された15事業を予定していましたが、家庭教育のうちの家庭教育学級、親子で歴史散歩は悪天候が予想されたために中止といたしました。また、少年教育のクリスマスケーキ作りは講師との日程調整ができず開催できませんでした。従いまして13事業の実施となりました。また、成人教育につきましてはほとんどの講座は既存のサークルと連携を図り、「体験学習講座」と銘打ち、高齢化が進み、会員数も減少していることから活性化を図るとともに会員を増やすこともねらいとしており、毎年成果を上げてきています。しかしながら講座によってはなかなかのびていないものもあります。実施時期や市政だより掲載等のPR不足でいくつかの事業の応募数が少なく、検討が必要です。その他の事業につきましては、資料をご覧下さい。</p> <p>続きまして、平成30年度の事業についてご説明いたします。昨年度の成果を踏まえ、ほぼ同じ内容の事業を計画しました。既に実施したのは、家庭教育では親子でリフレッシュ体操教室、少年教育では子ども書道教室、成人教育等では初任者囲碁教室、気功練功教室です。子ども書道教室は4月2日実施ということでなかなか集まりませんでした。そこで、小学校と連携を図り11～12月に書初め教室を実施する方向で検討をしている次第です。今日が最終日なのですが親子でリフレッシュ体操教室は応募2日目には定員に達しお断りするくらいでした。また、サークル連協の体験講座につきましては、本年度も、申し出のある講座をすべて実施する方向で考えております。今のところ4件実施する予定です。初任者囲碁教室、気功練功教室は盛況のうちに終了する事が出来ました。</p> <p>今年も花園公民館との共催事業で家庭教育学級「教育座談会」を実施</p>
------------------------	--

<p>飯塚 花見川公民館長</p>	<p>します。今年度は花園公民館で花園公民館が企画し行う。来年度は花園公民館で検見川公民館の企画で行うことにしました。同じ中学校に通う生徒・保護者のための事業ということ、場所的には花園公民館が参加するのには一番いいのではないかと考えてみました。また、昨年実施できなかったクリスマスケーキ作りも実施する予定です。</p> <p>検見川公民館では、昨年度同様、利用者の方々、来館者の皆様方が気持ちよく活動してもらえるよう、ロビーにBGMを静かに流したり、月1回公民館だよりを発行して公民館の事業やサークルの活動をPRしたりしております。歴史ある建物ではありますが、決して広くはありませんが事業の内容の充実を目指し、図書室利用も含め、地域の方々が気軽に利用できる、来館できる公民館というコンセプトをもって公民館運営をしていきたいと思っております。</p> <p>以上で報告を終わりにします。</p> <p>・花見川公民館の説明をさせていただきます。</p> <p>平成29年度公民館主催事業報告についてですが、9頁をご覧ください。</p> <p>平成29年度は、14事業で講座回数は23講座を開催しました。</p> <p>まず、家庭教育事業の子育支援関連の事業ですが、平成28年度は2歳児前後親子ふれあい講座として実施してみたところ16組の参加があり、子供同士・保護者同士の交流も図られ和やか状況でした。</p> <p>次に、小学生を対象とした子供向け事業ですが、合計5事業を各1回ずつ開催いたしました。例年大好評のクリスマスケーキや子供パン作り体験は募集定員をオーバーするものでしたが、事業内容や学校の各種事業等との兼ね合いから参加者の少ないものも見受けられました。今後改善を図ってまいります。</p> <p>そして、成人向け・高齢者向け・その他の3分類は合計8事業で講座回数は合計15回開催致しました。高齢化が進む現状を踏まえて、人生の締めくくりを有意義なものにする終活講座や、元気アップらくらく体操、千葉県保険医協会のご協力を得ての医療講座などの健康講座に興味的なものもプラスして企画したところ、これら多くの参加者があり好評でした。</p> <p>続いて、平成30年度公民館主催事業計画についてですが、10頁をご覧ください。</p> <p>平成30年度の事業計画は16事業で講座数は26講座を予定しています。事業の内訳は、新規事業が6事業、子供の科学事業が1事業、継続事業が9事業です。まず、家庭教育関連の子育て支援事業につきましては、参加者の減少傾向の対応策として、引き続き同じ内容で「親子のふれあい」を中心に育児支援・母親同士の情報交換や仲間作りの推進を目的に、5月から実施しました。10組20名の募集ところ7組14名の参加があり和やかな事業となりました。</p> <p>次に、少年教育関連の事業につきましては、創造性の育成や人気度などを勘案して、もの作りや食べ物作りを主体にした5つの事業を実施するもので、公民館に親しんでもらえるようにと思っております。</p> <p>この内、「子どもうどん作り教室」は6月30日に実施予定で、2</p>
-----------------------	--

<p>鴫 田 さつきが丘公民館長</p>	<p>0名募集のところ14名応募がありました。</p> <p>また、成人向け事業・高齢者向け事業・その他事業につきましては合計9事業を企画して、医療や健康志向などに趣味的なものや娯楽的なものも加えました。</p> <p>「その他講座等」につきましては花見川ふれあい寄席」を実施いたします。</p> <p>以上簡単ではございますが、花見川公民館の説明を終わります。</p> <p>・平成29年度のさつきが丘公民館主催事業報告について説明いたします。それでは、11ページをご覧ください。</p> <p>最初は家庭教育です。親子をはじめとして、触れ合いを大切にすることをねらいに実施しました。親子料理教室では夏はフレンチトーストとゼリー、冬はお花模様の太巻き寿司とデザート作りなど、参加者体験型の講座を実施しました。参加した子供は調理に関心をもったり、料理作りを通して親子、友達との触れ合いの機会を得たりすることができ、大変好評でした。また、3B体操の要素を取り入れた親子ベビーマッサージ教室では、乳幼児と母親がマッサージを通してスキンシップを図り、乳幼児との十分なふれあいや子育ての不安を解消する機会になりました。</p> <p>次に、少年教育です。継続で実施している書道教室では、例年と内容を変え、書初め教室を実施しました。多くの子供たちが参加して、楽しく充実した中で、学年に応じた作品を残していました。学校休業日への対応として、他にも、映画会、人形劇など、子供たちの居場所づくりと学校以外での学びの機会を提供する企画をしました。</p> <p>次に、成人教育です。恒例の「パソコン講座」、そして病気治療、薬、ウォーキングといった異なるアプローチからの「健康づくり教室」、相続・遺言と生活に密着した「生活に役立つ講座」、落語や映画会など趣味と娯楽を兼ねた講座も実施しました。</p> <p>いずれの講座も好評で、多くの参加者を募ることができ、充実した事業となりました。</p> <p>その他では、さつきが丘周辺を散策する自然観察会や一緒に参加できるコンサートの企画を実施しました。</p> <p>以上で、平成29年度公民館主催事業の報告を終わらせていただきます。</p> <p>平成30年度のさつきが丘公民館主催事業計画について、主なものを中心に説明させていただきます。12ページです。</p> <p>初めに家庭教育です。29年度に引き続き、小学生と保護者の親子による「夏休み親子料理教室」「クリスマス親子料理教室」、そして乳幼児と保護者の「親子ベビーマッサージ教室」を予定しております。親子で触れ合うと共に食育の大切さを考える機会、絆づくりの場になればと思います。</p> <p>次に、少年教育です。昨年同様映画会・書道教室・人形劇場を実施するほか、新規事業として「こどもマジックショー」を企画しております。子供たちの居場所づくりや子供たちの公民館での学びの機会を提供することにより、情操を育てるとともに公民館に親しんでもらえるような</p>
--------------------------	---

<p>齊 藤 こてはし台公民館長</p>	<p>企画を考えております。</p> <p>次に、成人教育です。例年、人気のあるパソコン講習や楽しい落語講座を実施します。また、これも人気のある講座ですが「健康づくり教室」では、高齢者を悩ます病気について、医師による講演を予定しております。更に口、歯にしぼった口腔衛生、口腔ケアの基礎知識を学ぶ機会、生活に役立つ講座として「税金と年金の基礎知識」を学ぶ機会を企画しています。</p> <p>新しい企画としては、女性対象に「アロマセラピー」、高齢者対象に「スマホ」、「介護予防体操」を取り入れるなど、社会のニーズに対応し、日常生活に必要な知識の習得を目的とした講座を実施します。</p> <p>以上、簡単ではございますが、平成30年度事業計画の説明を終わらせていただきます。</p> <p>・続きまして、こてはし台公民館でございます。</p> <p>平成29年度事業報告ですが、昨年度は、23事業を実施しました。成人教育では新しく「地域力を深める」を実施しました。内容の濃さを広報しきれず、応募者が少なかったのですが、こてはし台周辺の地域が抱える課題に具体的に対応する方法が示され、参加者からは高い評価をいただきました。少年教育の子どもチャレンジ隊 将棋・囲碁は、年間10回行いました。長く続けることは難しいことですが、継続することによって指導者の先生方との交流も深まり、継続参加が増えてきています。また、「つくって食べ隊Ⅰ・Ⅱ」「ガス管でペンダント」「廃油でキャンドルづくり」は多くの応募者数があり地域の小学生に定着していると言ってよいと思います。</p> <p>高齢者教育で新たに実施した「千葉氏の起こった時代」は応募が多く、市長さんが訴えておられる都市アイデンティティの確立への努力が浸透しつつあることを感じます。公民館としても千葉市と連携した講座を開設する大切さを感じました。</p> <p>クラブ連協の総会と抱き合わせで例年実施しているAED講習も徐々に定着し、「サークルの中で救命措置ができる人を増やそう」を合言葉に参加者を募っています。参加者からはさらに幅広い参加を募る必要があると声があがりました。</p> <p>平成30年度事業計画ですが、P14をご覧ください。</p> <p>本年度は、24の事業を予定しておりますが、新しい事業を中心に説明させていただきます。</p> <p>指定管理者の移行に伴い、主催事業の見直しを図りました。昨年度好評をいただきました高齢者教育の「Chibaを知る」シリーズでは、加曾利貝塚、千葉氏の講座の内容をバージョンアップして継続するとともに、現在の千葉市がこれからの「まちづくり」をどう考えているのかを知る講座「千葉市の現状と未来」を計画しました。先ほどもお話した成人教育で扱う「健康寿命」「防犯」などの講座とも内容のつながりを持たせるよう工夫をしていきたいと思っております。また、これまで有志の個人主催で行われてきました「昼下がりの音楽界」を共催事業として、内容の見直しをかけました。地域の子どもたちへの働きかけの一環として「夏休み親子コンサート」をいれ、参加者層の拡大を図ります。また、</p>
--------------------------	---

<p>松 戸 長作公民館長</p>	<p>学校や育成委員会との連携を進めるために、家庭教育では、共催の講演会や家庭教育学級の企画を進めております。</p> <p>最後に、指定管理者の移行を地域、利用者に広める場で、「地域と公民館がより連携を深めたい」と訴え続けました。その声が少しずつ地域に伝わり、学校関係の団体や、地域づくりを目指す新たな団体の利用が徐々に増えてきております。この方向をさらに進めていきたいと考えております。</p> <p>以上で、こてはし台公民館の報告と計画を終わります。</p> <p>・長作公民館、館長の松戸でございます。</p> <p>資料の15ページをお開きください。最初に、平成29年度の事業報告をさせていただきます。</p> <p>昨年度長作公民館の主催事業は16事業で、記載のとおりです。</p> <p>成人教育分野は消費生活講座など4つの事業を行ないました。今年初めて行った消費生活講座につきましては、ボランティア・グループによる寸劇とし、オレオレ詐欺に対する注意喚起を主な内容として、文化祭開催日の人が集まる時間帯を狙って開催することとしたところ、思惑どおり大勢の人に参加していただくことができました。今後もこうした企画を考えていきたいと思っております。</p> <p>団体・グループ活動の助成分野では、利用サークルを対象に、公民館の災害時避難所としての位置づけ、公民館予約システムについて館長が、今後の公民館の運営等についての説明を教育委員会職員が行いました。</p> <p>その他講座等の分野では、防災普及公社と連携して防災講座を開催し、起震車を用いた地震体験や、AEDの使い方を学ぶ等の内容から、多くの人の参加をいただきました。</p> <p>次に16ページ、平成30年度の事業計画についてですが、20事業を予定しております。</p> <p>本年度も従来からの継続事業に加えて、サークルと協力した茶道・着付けなどの体験講座や、文化祭に合わせた高齢者向けの歌と体操の教室、消費生活講座など、地域の方々の関心が高そうな課題をテーマにした講座の開催を予定しております。</p> <p>以上で、長作公民館の主催事業の説明を終わります。</p>
<p>林 朝日ヶ丘公民館長</p>	<p>・続きまして、朝日ヶ丘公民館です。17ページ18ページをご覧ください。</p> <p>平成29年度の事業報告ですが、家庭教育1、少年教育7、成人教育8、高齢者教育5、グループ活動の助成1の22事業を実施しました。</p> <p>家庭教育の「ベビーマッサージ体験教室」では、例年に比べ参加者が少なく、原因として材料費のオイル代の負担が考えられましたので、今年度は、内容を見直し、オイルを使わないで行うように改善したいと考えます。</p> <p>また、少年教育の「ペットボトルでランプ作り」については、体験した児童も多くなり、受講希望者が減少してきましたので受講希望の多い事業を検討したいと考えます。少年教育の「アートフラワー講習（カー</p>

ネーション作り)」や「クリスマスのケーキ作り」などでは、受講希望者も多く、参加した小学生がとても楽しく、仲良く協力しながら取り組んでいました。

成人教育の「パソコン講習（エクセル）」や「パソコン講習（なんでも相談）」は、希望者も多く学習支援者の説明も、とてもわかりやすく受講者からたいへん好評でした。

また、千葉市食生活改善推進員のお力をお借りして実施した、少年教育の千葉県の伝統料理である「太巻き祭り寿司」や成人教育の「野菜たっぷり健康レシピ」は、野菜不足からくる生活習慣病の予防や健康づくりのための食生活のあり方からも有意義な講座となったと考えております。

例年実施しております、千葉市社会福祉協議会・朝日ヶ丘地区部会主催の「ふれあい食事会」と連携した高齢者教育の「フラダンス鑑賞会」や「朝日ヶ丘寄席鑑賞会」は、参加者は、多かったのですが、「コーラス鑑賞会」や「軽音楽鑑賞会」の参加者がやや少なかったことなどの課題も含め、多くの方に、公民館を学びの場としてもらうための講座の在り方について、検討を進めてまいりたいと思います。

平成30年度事業計画ですが、昨年度の成果と反省をもとに、本年度は25の事業を計画しております。

事業内容の構成につきましては、昨年度好評であったものは継続を図り、その上で、新しい事業を加えました。そのため、継続事業20、新規事業5となっております。

継続事業としては、少年教育の「太巻き祭り寿司」や「ガス管でリサイクル（ペンダント作り）」、「親子料理」等を実施する予定です。また、昨年度受講希望が多く抽選になった「クリスマスのケーキ作り」については、今年度は2回実施する予定です。

また、読書に親しむきっかけ作りのためにも図書室と連携して「おたのしみおはなし会」も引き続き実施していく予定です。

成人教育では、受講希望が多い「パソコン講座」については、エクセル講座を実施するとともに、一人一人の技量に応じた「パソコン講習（なんでも相談）」を実施し、技量の向上を図る機会にしたいと考えております。また、引き続いて、「初心者そば打ち」や「太巻き祭り寿司」、「川柳と雑学セミナー」等も実施する予定です。

新規事業では、家庭教育の「親子でいっしょに体操しよう」を6回実施する予定です。また、「ベビーマッサージ体験講習」や少年教育の「アートフラワー講習」、成人教育として、「本とおしゃべり」、女性教育の「アートフラワー講習」を実施していく予定です。

例年実施しております、千葉市社会福祉協議会・朝日ヶ丘地区部会主催の「ふれあい食事会」と連携した高齢者教育の「軽音楽鑑賞会」や「フラダンス鑑賞会」、「朝日ヶ丘寄席」、「大正琴鑑賞会」や昨年度新しく実施した「新春コンサート」も引き続き実施する予定です。

平成30年度も、広報などにしっかりと取り組み、「学びの場」としての稼働率向上に努めてまいります。

友 杉
幕張本郷公民館長

幕張本郷公民館、友杉です。

平成29年度は、幕張本郷地域の特性（他に比べれば高齢者の割合が少なく、子どもや若い世代も多い）を踏まえて、ある年齢層に偏らず、新しい住民も自然と参加できて、地域の絆づくりに役立つような事業を展開しました。一つ例を挙げれば、クリスマスコンサートがあります。サークルの演奏に加え、新たに幕張本郷中学校吹奏楽部の出演を得ました。すると、合奏に加え生徒の語りが感動を呼びました。「自分が見たことがないからと、サンタクロースがいないという人は間違っています」「では、森の妖精を見たことがないから、妖精がいないというのですか…」情感豊かでけなげな中学生の声に、いつもは声が大きく元気な近所のOさんも涙をぬぐっていました。子どもたちを通して、地域のきずなも強まったと思います。

家庭教育の子育て講座「親子で遊ぼう」（1歳児対象）も好評で、アンケートには「新聞紙の紙吹雪等、大勢ならではの遊びが出来て良かった」「同じ年の子ども達とたくさんふれあえた。家ではできないことができた」とありました。また、「定期的にやって欲しい。2歳児以降もやって欲しい」という声もあったので（本当はこれがねらい）、自分たちで継続して活動しませんか、と呼びかけたところ、「げんきっず」というサークルが誕生しました。10組くらいの会員ですが、会員を増やして本年度も継続して活動しています。

他の事業については、資料をご覧ください。

なお、主催事業ではありませんが、「キャッチコピー&キャッチセールス」作戦をスタートさせました。「キャッチコピー」は、サークルや主催事業の館内での案内（掲示物）や公民館だよりの工夫です。「キャッチセールス」は、掲示物に立ち止まった人に対して、館員がすかさず語り掛けサークルや主催事業の売り込みをします。世の中ちょっと寂しい人が多いようで、話しかけると皆うれしそうです。この「キャッチ作戦」によって、わずかですがサークルや主催事業への参加者も増えてきました。

以上で29年度の事業報告を終わります。

続いて、平成30年度主催事業計画を説明いたします。

平成30年度は、「地域の人が多く参加でき、地域の絆づくりに貢献する主催事業」を積極的に行います。それは、公民館利用者（主にサークル）の利用者の減少、より多くの主催事業をとという要望（アンケートから把握）があるからです。主催事業を充実させて公民館に多くの人を集め、もって地域に貢献したいと考えます。合言葉は、「より面白く」です。

また、昨年度に取り組んだ、「キャッチコピー&キャッチセールス大作戦」を強力に進めていきます。

主催事業としては、31事業、45回を計画しました。いくつか例を挙げます。新規事業として、「仏像づくり」（5回）を企画しました。世の中は仏像ブームですが、自分の仏様を持っている人はほとんどいません。好奇心を満たし、心の安寧を得ることができると期待し、企画しました。（人気高く、すでに2回実施、20代～70代、男女ともに多い）

<p>渡 辺 幕張公民館長</p>	<p>歴史講座「幕張子守神社と庶民の思い」も新規事業です。「千葉氏」という武士に加えて、庶民の行動や祈りを知り、幕張地域の来し方を知るといふ知的な要望に応えます。子守神社のお祭りのちょっと前に実施するので、参加すれば「お祭りが10倍楽しくなる」と思います。</p> <p>継続・拡充の事業として、「パン作り教室」があります。1日から3日に増やしました。実は終わっていて、大人気でした。もっとやっという声があまりにも多く、7月26日に続編を企画しています（共催事業）。事業自体が、パンのようにふくらみ続けています。その他の事業につきましては、資料をご覧ください。幸いです。</p> <p>なお、地域にいる多様な方々との連携も考え、「日本語教室幕張本郷」を毎週月曜日に実施しています。さらに、多くの方に来館してもらうため、千葉市園芸協会の協力を得て「朝市」を9月29日（土）に開催し、秋の野菜をたくさん売る予定です。</p> <p>本年度は、「より面白く」「キャッチ大作戦」で、多くの人を集めて地域に貢献します。目標は、花園公民館の利用者数を上回ることです。「打倒花園公民館」で頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>幕張公民館の渡辺でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>資料の22ページをご覧ください。初めに 上段 平成29年度花見川区事業報告 花見川区事業についてご説明いたします。</p> <p>分類は「家庭教育」、事業名は、継続事業で「子育てママのおしゃべりタイム」、28年度からスタートしております、第5次千葉市生涯学習推進計画に位置付けられた事業でございます。内容といたしましては、幼児と保護者を対象に、子育てサロンを運営し、橋本委員様にもご協力を頂いておりますが、千葉市教育委員会から委嘱された先輩ママである「子育てサポーター」さん、や「臨床心理士の家庭教育アドバイザー」さん達とのおしゃべりのなかで、子育てに関する悩みや不安を少しずつ解消したり、お友達を増やすことなどをお手伝いする事業でございます。さらに、29年度からは、花見川保健福祉センター健康課と連携し、基本的に月2回の内1回は、保健師や管理栄養士や歯科衛生士さんのいずれかに来ていただき、専門的なアドバイスを行っていただける体制にいたしました。29年度は年間23回実施し、年間の延べ出席者数は683人、1回平均30人となりました。出席者の感想では、月2回、定期的で開催してくれるので安心して参加でき、楽しみにしている。とか、悩みが解消したなど、母親の悩み相談や、親同士・子ども同士の出会いの場として、参加者から高く評価されています。</p> <p>次に、同ページの下段、平成30年度花見川区事業計画 花見川区事業ですが、引き続き「子育てママのおしゃべりタイム」として、毎月、第2と第4水曜日の午前中の開催として、年間23回を実施することを計画しております。「子育てサポーター」は、4人体制で行っており、昨年度と同様に、花見川保健福祉センターの健康課と連携して、基本的に月1回は、保健師や管理栄養士、歯科衛生士さんに交代で来ていただき、その場で専門的なアドバイスを行っていただけるようになっております。ちょうど本日、午前中にごございましたので、今年度は今月までに6回実施しております。</p>
-----------------------	--

<p>竹内 委員長</p>	<p>説明は以上です。 よろしく願いいたします。</p> <p>・各公民館の館長さんから詳細な説明をいただきました。それでは1番の承認事項ということで、平成29年度の事業報告について、質問いただいて、承認までもっていきたいと思います。</p> <p>議事録をとっている関係で、氏名をマイクを通して話してから、ご発言いただければと思います。遠慮なく積極的なご意見をいただければありがたいと思います。29年度事業報告についてご質問をお受けいたします。</p>
<p>東野 副委員長</p>	<p>・各館それぞれいろんな方に広報していただいていると思うのですが、幕張本郷公民館の広報がユニーク。こてはし台公民館に帰って、その話もさせていただいた。講座の参加率もよく、参加はされているが、毎年、毎回同じ方がこられているのではないかと思います。若い世代の方とか。子供が小さい頃は参加していた方も、子供が小学校・中学校になっていったときに、利用が少なくなっているのではないかと思います。幕張本郷は、キャッチ大作戦とか、そういう広報をして、どうですか。年齢層とか変化はありましたか。こてはし台公民館も、お父さん呼び込もう、いや、参加していただくということで、工夫しているのですが。遊び心の有る広報で新規に来られた方は増えていますか。</p>
<p>友杉 幕張本郷公民館長</p>	<p>・そんなに急には変わらないですが。サークル一覧を持っていく方は増えました。また、サークルに参加する人も増えてきていると思います。主催事業掲示も工夫しています。市政だよりには多くの募集記事を掲載できないため、主催事業があるときに、予定されている他の主催事業をお知らせするなど工夫しています。</p>
<p>河合 委員</p>	<p>・私は公民館の利用者で、サークル活動もしています。いろいろな公民館に訪れていて、にぎやかなところは主催事業も頑張っているなあと思います。特に花園公民館を見ていると、少年事業が13事業と多く、PTAと連携されているのもすばらしい。利用者数の高いというのも、こういったところが原因ではないかなと思います。こてはし台は、中でも興味を持ったのは、異年齢との方との交流に、囲碁、将棋があるということ。特に将棋は応募決定率170%という高い数字。将棋の得意な方と一緒にやるということですよ。異年齢との交流に貢献できるのは公民館だと思います。幕張東小学校の校区には、大きな公園が実はないのです。放課後こども教室とかもあります。子供の放課後居場所づくりが大切。ゲームばかりして部屋にこもっている子供もたくさんいるのです。それが原因かどうかはわからないが、視力も低い。公民館という場所を、少年教育の場所にしていただきたいという思いがある。すごくがんばって主催事業をやっているというのを公民館オタクとして感じた。幕張本郷公民館で主催事業がきっかけとなって、サークル活動がはじまるというのはすごくいいこと。そういうところは、利用者として、アイデアを持っていこうと思わせる内容だなと。</p>

竹内委員長	・感想を述べられたということで。よろしいですか。
河合委員	・こてはし台は、囲碁や将棋は、講師の方をどのように集めているのでしょうか。サークルをやってらっしゃる方でしょうか。
齊藤 こてはし台公民館長	・将棋の愛好家が先生になっていただいています。おじいちゃんと孫のような感じで。おじいちゃんなので、礼儀が厳しい。始めるときに、藤井君のを見ましたが。結構な開催回数なので、来てくれるのが本当にうれしい。欠点は、囲碁がいなくなってしまった。小学6年生がいたのですが、中学生になって、部活もあるからと。ただ、講師の方には、なしにしようではなく、集まったらまたやりましようと言っている。なかなか囲碁のほうは難しい。
竹内委員長	・ありがとうございました。
河合委員	・ありがとうございました。とてもすばらしいです。子供たちは親のことは聞いてくれないので、人に言われるとびしっとしますし、継続的なのがすごくいいと思います。
門脇委員	・書類作る方をお願いですが、応募決定率、%になっていないところがあるので、すべてそろえていただけるとわかりやすいです。すべて同じ単位で。
竹内委員長	・よろしいですか。
門脇委員	・それと、太巻き寿司。幕張公民館はなかなか人が集まらないということでしたが、他のところでは人気があるようなのに、なぜ幕張公民館では少ないのか。親子教室なのがいけないのか。太巻きがこの地域に根付いていないということか。
竹内委員長	・幕張公民館さんよろしいですか。
村松 幕張公民館副館長	・太巻き寿司は非常にいいものだし、楽しいものができるんですが、マンネリ化しやすい。人気があるときとないときがあって、去年はなかったということだと思います。普通に作ったのではなく、人気のあるパンダにするとか。親子で楽しめるようなものを企画して行くなど、工夫していけるとと思います。
門脇委員	・時期的なことと思うんですけど。春なら、運動会があって、お弁当として見栄えが良いから人気がある。過去のデータはないんでしょうか？
海寶 幕張公民館主事	・幕張公民館では、毎年干支デザインの太巻きを作っている。本年はイノシシです。昨年度は少なかったんですが、それ以前は低いということはないと思います。

服 部 委 員	・太巻き寿司も人気と思いますが、パソコン教室も人気です。こてはし台公民館さんのほうでは、エクセル講座に応募者がいなかったというのが不思議です。
齊 藤 こてはし台公民館長	・パソコン関係のサークルが3団体ある。サークルでみっちりやるので、それでニーズが満たされていると考えている。対象を変えるとか、スマホやタブレットにするなどしないと、いらっしやらないかなと。
竹 内 委員長	・そのほか。
吉 田 委 員	・こてはし台の成人教育の中に、昼下がりの音楽会とあるが、場所はどこですか。
齊 藤 こてはし台公民館長	・この会場（幕張公民館 講堂）と同じくらいの大きさの部屋で。
吉 田 委 員	・室内ですか。
齊 藤 こてはし台公民館長	・室内です。非常にちまちまと。
竹 内 委員長	・そのほかにも。29年度に対してご質問ございませんか。なければ平成29年度事業報告について承認することとしたいと思います。承認することとしてよろしいですか。
鶴 岡 委 員	・こてはし台公民館にお伺いします。高齢者教育の中で、加曾利貝塚と千葉氏の講師の方はなんていう方か。
齊 藤 こてはし台公民館長	・郷土館の学芸員さんをお願いしております。
鶴 岡 委 員	・それからもうひとつ。長作公民館さん、一番上の家庭教育の中で、「地域の教育力向上」というのはわかったようなわからないような。言葉を変えるとどういうことになりますかね。解説していただけると。
松 戸 長作公民館長	・あいまいで申し訳ありません。子供に対してどのように向き合っていくのかということ。一般的な表現でつかわせていただきました。よろしいですか。
鶴 岡 委 員	・ええ。
河 合 委 員	・幕張公民館での少年教育の事業というのは4つ。花園公民館の13とは言わなくても、増やしていただくのは可能なんではないでしょうか。申し込んでも、締め切られていたりする。花園公民館では少年教育の子供たちの総人数が300人くらいですか。一方幕張公民館では40くらいと子供の数が限られる。子供の事業をもう少し増やしたらどうかかなというのが、計画を見て思いました。

<p>村 松 幕張公民館副館長</p>	<p>・花園と比較されると少ないですね。私は去年花園の館長をやっています。多すぎたかなと今反省しております。近くの学校が関係していると思います。幕張公民館は、幕張小学校と幕張東小学校が所管区域にあります。あと、他の事業とくらべて、バランスよくいれようという意図が出ているのかと。公民館によってばらつきが出るところです。ただこれからのことを考えると、今後増やしていても良いかと思います。ただ少子高齢化ですから、高齢化のほうも重要視していきながら、ニーズに応えたいと思います。</p>
<p>大 矢 委 員</p>	<p>・毎回言っていますけど。子育てについて、各館で予算的なものを分けるということをやってください。使い方が偏りすぎ。お金をもらう人と、ボランティアの人がいる。おかしいでしょう。平等にしてください。ということが1点。 もうひとつ。生涯学習振興課だけの問題ではないが、行政側の頭がそれぞれ違って、同じようなことをやっている。非効率的。市として計画性をもってやってもらうことが大事。学童保育のことでいえば、同じことをやっている。頭を整理してくださいよということ。もっと頑張ってもらわないと。お役人さんのほうでのレベルの整理はお願いしたい。答えはないだろうから、いいです。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>・ご意見として、将来的に考えていただければと思います。</p>
<p>田島 生涯学習振興課 課長補佐</p>	<p>・例えば、高齢者に対する事業を実施する施設が、隣り合ったりすることは、事例としてはあります。所管が違うのですが、市として将来的に検討すべき課題だと思います。</p>
<p>服 部 委 員</p>	<p>・各公民館でパンづくり、折り紙とか人気のある講座は増やして対応してくださっていて、とてもありがたいなと思いました。ぜひ来たい子はみんな体験させていただきたいので。</p>
<p>橋 本 委 員</p>	<p>・先ほどの話に戻りますが。子育てママはサークルではなく、幕張公民館がすべてやっているように見えるが、幕張公民館が主体となっているということで、区の事業です。いろいろな館に出向くこともできる。サークルではなく、事業なので、手弁当とかということとは違うと思います。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>・ちょっとよろしいですか。先ほどから、事業そのものをPRしていくかということがいかに大切かという話があるが。市政だよりも募集記事が載る、載らないということが、いかに関わってくるか。1公民館が載せられる数は少ない。どんどん少なくなっている。生涯学習振興課さんのほうにぜひお願いしたい。公民館は大事な場であるかあら、ある程度選択されるのは仕方ないにしても、増やせるよう働きかけることはできそうですか。</p>

<p>田島 生涯学習振興課 課長補佐</p>	<p>・現状は1館1つくらいです。去年から紙面が大きくなったところはありませんが、表記の仕方についてできる限り工夫しているところです。小学生向け事業などは、学校を通じて広報できるが、一般向けは、やはり市政だよりも重要な手段となるので、より多くの事業を広報できるよう、努力したい。</p>
<p>竹内 委員長</p>	<p>・知らせるということですから、字が小さくても、載っているのと載っていないのでは違うので。</p>
<p>竹内 委員長</p>	<p>・図書室がおかれている公民館とおかれていない公民館がある。参考資料を見ていただきますと、花見川区内図書室の利用状況というものがある。これによると、年間の図書資料費が書いてある。合計が131万4千という金額が図書室に配布されている。ところが、いまの図書システムが、各図書室でのリクエストに応じて頼んでいただいている。図書の事務の方が決められた本屋に頼みます、そうすると今のシステムだと、買うということになると、本が入荷されると、まず市の図書室にいて、きれいにしたり、コード番号を貼るなど下準備をして、頼んだ図書室にくる。しかし図書室にくるその前に、千葉市のシステムに登録されてしまいます。登録されるということは、頼んだ人より早く借りられる人がいるということです。図書室の方も、利用者の方とコミュニケーションをとっているが、報いることができないというのが実態らしい。そうすると、図書室にお金を配分して一生懸命図書を買ってもらおうという行為がなんだったのか、ということになる。システムを変えなければならぬのかもしれないが、リクエストを出した図書室の本は3か月くらいはシステムにはのせずに、購入した図書室に置いておくことはできないのか。せっかく図書室に意向を聞いて購入したのに。将来的にご検討いただけるのかどうか。振興課のほうで何かありますか。</p>
<p>田島 生涯学習振興課 課長補佐</p>	<p>・今のようなお話は、他の館でもうかがうことがありますが、現状のシステムでは難しいように聞いております。図書館のリクエストが図書室に引っぱられることもあると思うので、図書室のみが不利なわけではないですが、リクエストされた方に本が渡るのが望ましい状況だとは思いますが。</p>
<p>竹内 委員長</p>	<p>・そういう体験をした方はいますか。</p>
<p>服部 委員</p>	<p>・リクエストした人が最初に予約できないのでしょうか。</p>
<p>田島 課長補佐 大矢 委員</p>	<p>・今のシステムではできないと思います。 ・難しいと思う。市のほうに検討してもらえないか。</p>
<p>竹内 委員長</p>	<p>・図書室の担当者してみると、皆様のご意向にそって、購入しているからどんどんご利用してくださいという姿勢。希望通り買うことができる。双方向の信頼関係になっているのに、買ったのに借りられないと</p>

<p>田島 生涯学習振興課 課長補佐</p>	<p>いう話だともったいない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リクエストした本が、すべて買ってもらえるわけではない。極端にいうと、ひとつの本に対して、リクエストが100はあることもあるが、100冊買えるわけではない。図書館に投げかけて、そういった話をしていきたいと思う。
<p>竹内 委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今すぐできるとは思っていないが、意味のある、血のつながった運用に持っていけたらありがたいなど。事務処理は大変だと思うのですが。そういうことを含めてご検討いただければ。
<p>東野 副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戻すような話になるんですけど、子育ての話。何年前にも、大矢さんと橋本さんが話していて、私が仲裁したような。大矢さんは資格を持っている方と、ボランティアの方に、同じ金額を出せということを行っているのではないと思います。誤解があったり、解決のない話し合いはいやなので。でも、毎回この話を出るのはどうなったかという報告をしてくれないから。資格を持っているかどうかで、内容は違うと思うのです。よく似た内容のことをやっているが、子育てサポーターの手が回らない場所をやっている。気は心の部分を大矢さんは言われているのだと思う。出せるか出せないかは分かりませんが、話をした結果できなかった、という話ならわかる。出せるよ出せないよ、という報告がないから毎年毎年同じことの繰り返しになっているんだと思います。出せないなら、出せないでいいですよ、大矢さん。
<p>大矢 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よくはないけど。
<p>東野 副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですか。モーションかけたか、かけなかったか。過程の部分と、結果を報告していただければ落ち着くような気がします。ボランティアでしていただいて、ありがたいと思う。みなさん工夫されているので。毎回同じことで気まずく終わるのはとてもいやなので、よろしく願います。
<p>河合 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花見川区内公民館利用者という表がありますが、午後から夜間の利用者が少ない。前にも幕張公民館に相談させていただきましたが、少年教育というところで、どうしても子供たちの放課後に合わせると、せいぜい6時くらいまでしか公民館に来られない。小学生の子供たちが来られる時間は限られている。4時くらいから6時くらい。公民館には夕方枠がない。午後、夜間となると定期ではとれない。サークル活動を小学生のためにしたいという方には、それが障壁になっているのではないかと。今後、利用時間のシステムを変えていくことがありましたら、午前・午後・夕方・夜間にしてもらえると効率がいいのでは。空いていても利用できない。
<p>田島 生涯学習振興課 課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・午後～夜間は少ないが、午後・夜間それぞれ単体で使っている方はいるので、そういった方たちへの影響を考えながら、検討していきたいと思えます。

竹内 委員長	<p>・何かありましたら次回に。以上で本日の議題を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。 では、進行を事務局へお返しします。</p>
柴崎 生涯学習振興課 主査	<p>○皆様、長時間のご審議ありがとうございました。以上で平成30年度第1回花見川区公民館運営審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>

閉会 16時00分

問い合わせ先
千葉市教育委員会生涯学習振興課
TEL 043-245-5954